

第12章

復興事業 完了

第1節 全員帰島・新住居への引越（132

第2節 記念式典（134

第1節 全員帰島・新住居への引越

震災から3年が経過した平成20年3月25日に、かもめ広場から玄界島への引越を実施した。これにより、地震発生当日の全島避難以来1100日ぶりに全員帰島が実現した。

また、玄界島の仮設住宅から新しい住居への引越も行った。市営住宅については一斉に引越を行うこととし、3月25・26日に実施した。また、戸建て住宅については、住宅の完成時期が異なるため、個別に引越を行うこととし、3月23日に第1回目の引越を行い、2回目以降の引越を4月に行った。

スケジュール

日付	曜日	内容
3月 1日	土	島民総会(引越説明会、市営住宅入居説明会)
3月 6日	木	梱包材配布(玄界公民館)
3月 7日	金	梱包材配布(かもめ広場集会所)
3月 8日	土	午前:市営住宅 寸法等確認日
3月15日	土	網掛け作業場や中学校体育館からのゴミ搬出
3月20日	木	午前:玄界島地区小規模住宅地区改良事業完了式典(市主催) 防災訓練(自治会主催) ※荒天のため中止 午後:市営住宅入居者へ鍵渡し ※荒天のため21日に延期
3月21日	金	市営住宅入居者へ鍵渡し
3月22日	土	市営住宅ガスコンロ、照明器具取付日
3月23日	日	市営住宅ガスコンロ、照明器具取付日 戸建て住宅引越
3月25日	火	かもめ広場 → 玄界島へ引越、仮設住宅の退去確認 玄界東市住等 → 市営住宅へ引越 網掛け作業場や中学校体育館からの荷物搬出
3月26日	水	玄界島仮設住宅等 → 市営住宅へ引越
3月27日	木	網掛け作業場や中学校体育館からの荷物搬出
3月31日	月	玄界島仮設住宅退去確認(初回)
5月11日	日	玄界島仮設住宅使用期限
5月12日	月	玄界島仮設住宅退去確認(最終)

3月25日、26日の引越作業に当たっては、平日であったことから、福岡県職員、福岡市職員等の総勢51名がボランティアとして参加した。海上運搬については、平成19年の一部帰島の時と同様に、玄界島出身の宮川運送の協力があつた。

福岡県、福岡管区気象台、福岡市内部など関連局が多岐にわたつたが、それぞれの部署が役割を担い、終了することができた。

1 かもめ広場からの引越

平成20年3月25日に多くのボランティアの協力を得ながら、かもめ広場に残っていた全島民が帰島した。前年と同様にかもめ広場からベイサイドプレイスまでの移動については、市役所のバスを準備し対応した。



かもめ広場仮設住宅からの引越



帰島を出迎える島民の様子

2 島内の引越

3月25日かもめ広場からの引越終了後、玄界島内で、教職員住宅、既存市営住宅、世帯分離者のいる県営住宅等のそれぞれから市営住宅の引越が行われた。翌3月26日に島内の仮設住宅から市営住宅への引越が行われた。

戸建て住宅への引越については、安全管理上、斜面地のガードレールや転落防止フェンスなどを設置した後に実施することとしたため、3月23日、4月6日、4月20日に実施した。



引越の様子



3 中学校体育館の荷物搬出

中学校体育館には、家財を保管していたが、平成20年4月に学校に引き渡しをする必要があつた。このため、平成20年3月27日に体育館に収納している荷物を搬出した。

第2節 記念式典

玄界島市営住宅7棟が完成したことから平成20年3月20日に福岡市主催で「玄界島地区小規模住宅地区改良事業完了記念式典」を予定していた。しかしながら、荒天のため市営渡船の欠航が予想されたため、中止することとなった。

なお、本事業に多大なる貢献をされた団体に対し感謝状を贈呈した。

